

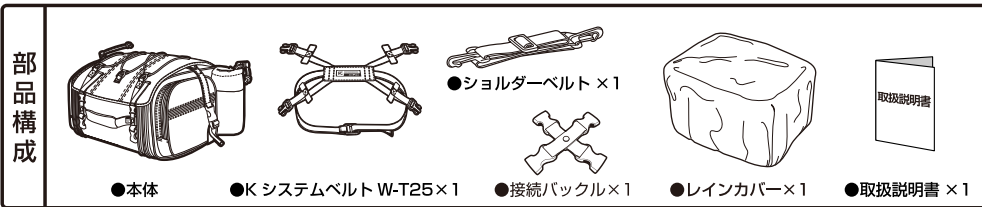


MINI FIELD SEATBAG EX

ミニフィールドシートバッグ EX ヘリテージエディション

〈取扱説明書〉

- この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくご使用くださいますようお願いいたします。
- この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。



補修パーツ (消耗品パーツ) のご案内	部品番号	名 称	セット数
	MP-318T	Kシステムベルト W-T25	1本
お求めはお近くの 「モトフィズ」取扱店 にてご注文ください。	MP-124	接続バックル	1個
	MP-157	レインカバー	1個
	MP-12	ショルダーベルト	1本
	MP-313	バンジーコード(ブラック)	1本
	●オプション MP-123T	固定ベルト	1本
●オプション MF-4748	プロテクターシートシートバッグセット		1セット
	●オプション MF-4729	プレートフック3	1個

バイクへの取り付け方法

シートへの取り付け 《 KシステムベルトW-T25を使用 》

- シートを取り外し、図のようにKシステムベルトをシート裏側でロゴが見えるように位置を決め、シートの突起を避けながらグレーのベルトにシートをくぐらせます。
 - シート表側でグレーのベルトのバックルをしっかりと引いてシートに固定してください。グレーのベルトは回転移動できますので、ベルトが引きやすい位置に調整してください。
 - シートを戻し、しっかりと車体に固定させます。(この時に固定用のバックルのついた4本のベルトをシートの外へ上向きになるように出してください。)
- ⚠ 警告

ベルトが車体側のフレームやフックに挟まれて破断する事のないようご注意ください。
- ⚠ 注意

ベルトがねじれてバックルの向きが変わると固定できません。ベルトがねじれて挟まれないか確認して、シートを戻してください。
- ⚠ 注意

バックルの裏表を間違えると装着できません。
- ⚠ 注意

ベルトがしっかりと固定されていないとベルトがずれて安定しません。

- バッグのバックルにKシステムベルトのバックルを差込み固定します。不安定にならないように先に前の左右のバックルを同時に引いて適度なテンションにベルトの長さを調整し、次に後ろの左右バックルを同時に引いて長さを調整してください。
- 余ったベルトの収納方法

Tベルトストッパー
下端から丸めて行きます。
面ファスナーで固定します。

⚠ 注意

ホイールやチェーン等の可動部分に接触しないよう、余ったベルトはTベルトストッパーでまとめてください。
- 接続バックルの使用方法

バッグを取り外した後のKシステムベルト・固定ベルトは接続バックルで、車体に取り付けておく事が可能です。

車体への取り付け 《 固定ベルト(別売り)を使用 》

※シートへの取り付けが難しい場合や車体にベルトで取り付けたい場合に使用します。

- 固定ベルト(別売り)のループを使用して下図を参考にバイクに取付けます。
 - 固定ベルトを車体に繋がたらバックルを本体のバックルに接続します。前後左右が均等になるようにベルトの長さを締めて調整します。
 - ベルト調整後、余ったベルトはTベルトストッパーでまとめます。
- 固定ベルトのループ使用例

 - 荷掛けフック
 - 車両フレーム
 - ベルトタイプ荷かけフック
- ⚠ 注意

 - バックルの裏表を間違えると装着できません。
 - 車体の温度が高い部分(エンジンやマフラー等)にベルト、バックル、バッグ等が触れると溶ける場合があります。
 - 「Kシステムベルト」と「固定ベルト」の併用は出来ません。

⚠ 取り付けの注意

●法令を守りお取り付けください。●シート・テールカウル・ウィンカーの形状等により、本製品を装着できない場合があります。事前に取り付け車両の形状を良くご確認ください。●バッグは走行に支障のない、安定した位置に装着してください。シート形状や取り付け位置等により装着後も安定しない場合がありますので、走行前に必ず操縦に支障のない事を確認し、また脱落等の無いように確実に装着してください。●走行による振動等で固定ベルト等は緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●バッグ本体やベルト・バックル等が車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売り)等でその部分を保護する事をお勧めします。●エンジン・マフラー・排気煙等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。●固定ベルト等に傷やほつれが生じた場合は、破損、脱落の恐れがありますので必ず交換してから使用してください。(補修パーツリスト参照)

⚠ 使用上の注意

●法定速度内でご使用ください。●最大積載量(7.0kg)を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるのでお控えください。●走行による振動等で固定ベルトが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●角が鋭い重量物を入れると、内装が破損する恐れがあります。その場合はパッキン等で包んで収納してください。●ドリンクホルダー使用時は必ずコードストッパーを絞ってください。●携帯ガソリンポット、ガスボンベ等、引火性の強い危険物は火災の原因になりますので、収納しないでください。●林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。●バッグは生地や縫製方法など通常使用での耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、ファスナーの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをすると破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。●寸法・容量等の表記につきましては、個体別の誤差が生じる場合がございますので予めご了承ください。●バッグの面ファスナーが開いたままになっていると他の衣類や素材に引っかかりやダメージを与えることがあります。●仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

バッグの使用方法

- 容量の拡張方法

①サイドベルトを①緩めてから②バックルを外し、② 荷物を入れ、バックルを接続し拡張部分が垂れ下がらないようにサイドベルトを調整します。
③拡張ファスナーを開き④引き出します。

⚠ 注意

余ったベルトはマフラー等に接触させない様に処理してください。

- バンジーコードの使用方法

降車時のグローブやジャケットの仮置きとして、バッグ天面のバンジーコードを使用できます。

コードが劣化し伸びた際は、モトフィズ補修パーツ(別売り)で交換する事ができます。

●MP-313 バンジーコード(ブラック)
●MP-314 バンジーコード(グレー)
●MP-315 バンジーコード(ブルー)
●MP-316 バンジーコード(レッド)

⚠ 注意

衣類等を仮留めしたまま走行しないでください。
- グローブホルダーの使用方法

降車時、グローブの仮置きに。
ホルダーにグローブを差し込みホルダーを締めます。

⚠ 注意

バイク走行時はグローブホルダーを使用しないでください。

- ショルダーベルトの装着方法

オートバイ装着時はショルダーベルトの長さを最短にしてバッグのフラップ内側に収めます。

⚠ 注意

オートバイ装着時は必ずショルダーベルトをフラップ内側に収めるが外してください。

- オプションパーツ(別売り)の使用方法

●プロテクターシート

バッグやベルトの接触面に貼る事で車体の傷付きを防止出来ます。モトフィズプロテクターシートは貼り付け場所により様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックス Web サイトでご確認ください。

●プレートフックシリーズ

バイク後部に荷掛けフックが無い車両でもプレートフックを使用する事で、固定ベルトをより簡単に確実に装着することが出来ます。モトフィズプレートフックは様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックス Web サイトでご確認ください。

- 保管とお手入れの方法

●表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤等を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。●雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。●保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。●本革パーツは色移りの可能性がありますので濡れた状態のまま放置しないでください。●定期的なお手入れは、PITGEAR モトフィズバッグリナーとモトフィズバッグコートのご使用をお勧めします。
- ⚠ 注意

ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお止めください。

- バッグのメンテナンスはPITGEARで!

PG-287 モトフィズバッグコート
■雨・泥・排気ガスからバッグを守る

PG-288 モトフィズバッグクリーナー
■雨染み・カビ汚れ・排気ガスを浮かして落とす

特殊フッ素ポリマーが繊維一本一本に浸透し水・汚れ・菌の増殖からバッグを守ります。

素材に優しい天然由来の界面活性剤が汚れを包み込み浮かび上がらせ、簡単に除去します。